

社会福祉法人生活クラブ2008年度事業報告

法人全体として**

各部門管理責任者が目標管理の力を高めるツールとして、新たに「経営管理シート」を作成し、毎月月初に担当経営管理スタッフ毎に開催する部門管理責任者会議の場で、前月の実績の確認と当月の見通し、対策を話し合いました。その結果、07年度の予算達成率が94.4%だったのに対して、08年度は99.6%と、目標管理力が高まりました。

人事諸制度を下図のとおり整理しました。基本姿勢、行動基準、業務マニュアルを新たに制定、人事考課制度を大幅に改善し、諸規定の見直し、修正を行ないました。

新人事制度は、今期下期から、行動基準は09年1月1日、基本姿勢は同4月1日から運用を開始しました。従来の法人理念を簡素化し、行動基準と同様に09年1月から新理念に移行しました。業務マニュアルは、全ての事業部門について、09年度中に作成することを目指します。

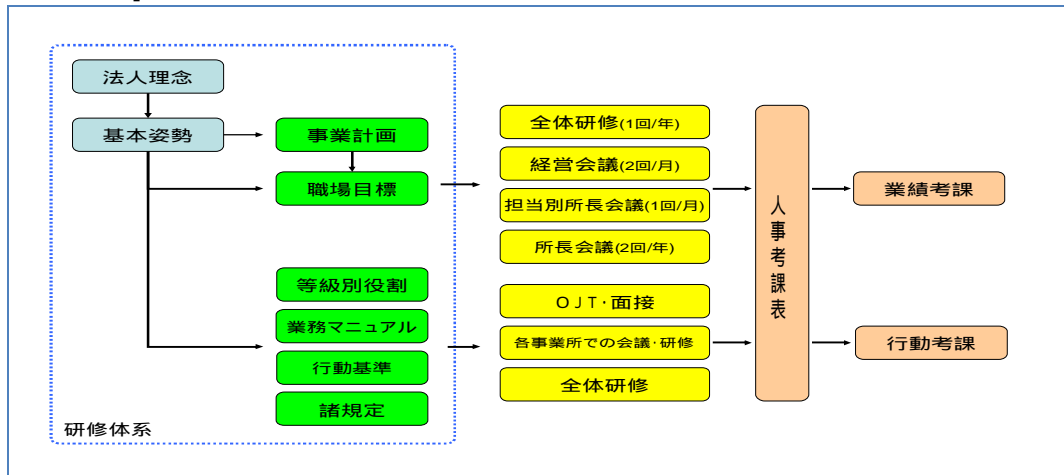
サービスの質を高めるため、研修体制のさらなる整備を行ない、新たに調理担当者、看護師連絡会における専門的な研修を実施しました。

戦略的な職員採用として、法人ホームページを職員採用の重要なツールと位置づけ、全面的にリニューアルして08年8月にアップしました。また職員へのアンケート、ヒアリングを実施し、採用活動の課題、問題を抽出しました。それをもとに、09年度はより効果的な戦略的採用活動を展開します。

V A I Cとの連携については、一部の事業所においてプランへの組み込みに対するかわりを持ちました。独居高齢者に対するボランティアの導入や余暇支援に対するボランティアのプランへの位置づけ等をおこなっていました。

社会福祉法人設立10周年に当たり、10周年記念イベント実行委員会を設置しました。実行委員メンバーは今後の生活クラブを担う若手職員を中心としました。11月にオールスタッフ感謝祭(事業所対抗バレーボール大会、模擬店等)、1月に加藤登紀子コンサートを行ないました。また、10周年記念誌は09年6月の全体研修で職員に配布しました。職員、関連団体等の協力を得て3つの企画は、好評のうち実施することができました。

[人事諸制度]



ホームヘルプ**

人材不足を解消するため、新規職員紹介者と入職者への報酬金制度が9月1日より新設されました。

ヘルパー2級養成講座の各事業所での開催は厳しいため、09年度は本部が企画して実行します。

介護福祉士の比率を高めるため、事業所ごとに試験の合格に向けフォロー体制を組みました。

事業所における長時間ワーカーの採用の意向調査を行い、折込チラシによる求人を行いましたが残念ながら採用にはつながりませんでした。事業所内でワーカーに呼びかけを行い、2名が長時間ワーカーとして登録し取り組みました。今後はどのような方法で採用につながるか、検討課題となっています。

****デイサービス*****

年間累計で予算比110.4%と収入予算を大幅に上回り、すべての事業所が黒字になりました。



利用者のニーズにあったサービスを提供するため、少人数での外出や、地域との交流、ボランティアの受け入れを増やすなど、画一的ではないサービス内容を盛り込みサービスを多様化しています。

****居宅介護支援*****

各事業所においてケアマネジャーが順次ケアプランの内容を確認し、適正なプランとなっているかをチェックしました。今後も内部ケアマネジャーによるチェックを継続し、利用者に適正なプランを提供するためのプランチェックの方法は今後も検討を続けます。

他事業所の職員によるケアプラン点検を実施し、報告会を開催しました。改善すべき点は各事業所で早急に改善し、長期的課題については、今後業務改善プロジェクト、自主監査制度で精査をし解決を図ります。

****相談事業*****

外部研修は積極的に受け、情報や知識の習得に努めました。
身近な相談窓口として地域から信頼を得るよう、地域に出向き、周知と信頼を得るよう努めました。

あいネットは柏市の委託を受け、08年4月から柏市地域生活支援センターとして再出発しました。柏在宅介護支援センターは、09年4月から地域包括支援センターに移行しました。

****保育園*****

保育士としての獲得すべき目標を達成するために、2つの園での「年齢部会研修」に取り組みました。今年度は2歳児の取り組みでお互いの園の課題を見つけ、研修の場での意見交換ができました。

風の村保育園では風の杜ひろばの活用で保護者や地域にも呼びかけ、窯開きのイベントやジャズコンサート、クリスマス会を開催しました。わらしこ保育園では、近隣の畑を借りたり、保護者の父兄が運営している「おやじの会」と協力し、夏祭りの取り組みをしてきました。

****風の村*****

特別養護老人ホーム・ショートステイ

職員の情報共有のためにも重要であるリーダーの役割への意識強化をスタッフミーティングで確認し、また主任が全体を把握し、タイムリーに現場対応できるように努めました。

相談員業務を入居、ショートと分け、以前に比べきめ細かく対応できるようになりました。相談員が不在時も連絡、報告がスムーズに行なえるよう全職員がユニット間の協力を意識しケアに取り組みました。

ユニットケアプロジェクトを発足させ、ユニットケアの意義・個別ケアの重要性を確認しました。

施設長指導の下、初回プランの作成、更新プランの確認を行ないました。また、10月よりICFの視点についての研修を数回行ない、スキルアップを図りました。

入居者の重度化に伴い、多発する事故防止のために、ユニットミーティングを複数回行なうなど、自発的な取り組みが始まっています。安全対策委員会が関わることで、他職種との意見交換が可能になりました。また、事故報告書の書式変更を行い、事故発生時の状況分析に役立たせています。

Uビジョン本間氏による新人を中心とした研修を毎月行ないました。また、同時に各委員会が特養として必須となっている研修を行ないました。年度末には8名のユニットリーダーを対象に2日間に渡る「リーダー研修」(講師：本間氏)を開催することが出来ました。

4月より11の委員会を設置し各委員会ごとに委員会としての目的、目標、役割を再度確認し業務にあたりました。各委員会が連携を取りながら「入居者の生活の向上」に向けて活動することができました。

**** さくら風の村 ****

ショートステイでは開設以来 2 件の看取りをしました。いずれもさくら風の村訪問診療所の医師が最後までかかりました。自宅で暮らしたいという思いを実現するため各事業がそれぞれ連携しながら支援しています。地域の方からのボランティア希望者はVAICに紹介しています。またVAICの主催するボランティア体験講座に参加していま

す。毎月のボランティア連絡会には担当者が出席しています。

裏山の遊び場作りは、「さくら風の村冒険基地創造プロジェクト」としてスタートし、現地見学や、草刈り、ロープワーク等のイベントを大勢の地域の方が参加して行っています。

**** あかとんぼ事業 ****

月 1 回の頻度で事業所内のスタッフが講師となり、発達障がいについての研修を行いました。また外部からも講師を招き、同障がいについてさらに考えることができました。研修を行ったことによって、少しずつスタッフの意識が向上しています。また、他事業所との合同研修も実施し、研修以外にも交流を深めることができました。

あかとんぼ事業の後援組織である「あかとんぼサポータークラブ」が中心となって「ありがとうコンサート」実行委員会を立ち上げ、3 月 7 日に佐倉市民音楽ホールにて開催することができました。



**** 新規事業 ****

ライフ&シニアハウス市川

事業主体の株式会社生活科学運営と連携し予定通り 08 年 9 月 1 日にオープンしました。ハウスコンセプトは「共に」に決定しました。また、ハウス運営方針、各セクション別の方針についても決定しました。

船橋市高根台団地の高齢者施設内での事業

08 年 5 月には法人内で高根台つどいの家生活クラブプロジェクトを立ち上げ、毎月 1 回のプロジェクト会議を開催しオープンに向け取り組みました。工事は 08 年 6 月に着工され、09 年 4 月に竣工し、予定通り 09 年 6 月にオープンしました。

特養風の村増床

11 年のオープンに向けて、09 年度下期からは、現場職員中心にプロジェクトチームをつくり、設計を始めます。また、09 年度には、既存部分の改築も行ないます。

サポートハウス光ヶ丘隣地での拠点づくり

08 年 4 月にプロジェクトチームを発足し検討を行ってきた結果、15 室の高齢者専用賃貸住宅「第 2 サポートハウス光ヶ丘」を建設することになりました。VAIC-CCI の事務所や柏市自閉症協会の地域活動支援センターを併設する予定です。

**** 2008 年度 事故発生件数 ****

()内は事業所数	不履行	遅刻	対人	物損	個人情報漏洩	その他	車両	苦情	合計
訪問介護・居宅介護支援(10)	28	24	7	22	4	14	10	2	111
デイサービス(4)	0	0	16	0	1	1	5	2	25
相談事業(3)	0	0	0	0	0	3	2	1	6
保育園(2)	0	0	8	0	0	0	0	0	8
風の村 [居宅/訪問/特養/ ショート/デイ/管理部]	3	2	89	2	2	3	3	0	104
さくら風の村 [居宅/訪問/デイ/ ショート/訪看/診療所/管理部]	12	5	68	8	1	5	7	1	107
あかとんぼ事業(3)	2	0	8	0	1	5	3	1	20
高齢者住宅事業(2)	0	0	15	1	1	14	0	4	35
本部	0	0	0	0	2	8	1	0	11
合計	45	31	211	33	12	53	31	11	427

2008年度決算報告

1. 事業収支の状況

収入は、ホームヘルプ事業がヘルパー不足も影響し厳しかったもののデイサービス事業、ショートステイ事業が予算を大きく上回ることができました。また、自立支援法の居宅サービスや児童デイサービスも予算を上回ることができました。しかし、9月からの有料老人ホーム運営受託（ライフ&シニアハウス市川）は、入居未達成等により大きな予算未達成となりました。支出については、主にホームヘルプ事業の未達成により人件費が下がり支出予算を下回ることができました。経常収支は、予算比及び前年比とも大幅に上回ることができました。

事業活動収支計算書概略（2008年4月1日～2009年3月31日） 単位：千円

項目	事業活動収入	前年比	事業活動支出	前年比	経常収支差額	前年比
計画	1,861,262		1,823,115		21,704	
実績	1,872,744	120.9	1,769,777	116.7	87,550	390.4
予算比	100.6		97.1		403.4	



2. 貸借対照表（2009年3月31日現在） 単位：千円（千円未満切捨て表示）

資産の部		負債の部	
流動資産合計	338,450	流動負債合計	206,563
現金・預金	42,520	短期運営資金借入金	85,000
未収金	289,020	未払金	89,848
立替金	4,145	預り金	5,459
前払金	1,917	仮受金	134
貯蔵品	837	賞与引当金	26,121
その他流動資産	9	固定負債合計	875,837
固定資産合計	1,925,045	設備資金借入金	679,322
基本財産合計	1,528,981	長期運営資金借入金	171,177
建物	1,366,564	長期預り金	756
土地	162,417	退職給与引当金	4,581
その他の固定資産合計	396,064	収益事業元入金受金	20,000
建物	14,895	負債合計	1,082,401
構築物	133,964	純資産の部	
機械及び装置	9,798	基本金の部	
車輛運搬具	5,783	基本金	112,455
器具及び備品	47,678	基本金	112,455
土地	33,172	国庫補助金特別積立金	827,133
権利	13,218	国庫補助金等特別積立金	827,133
ソフトフェア	2,520	その他の積立金	88,508
投資有価証券	5	移行時特別積立金	9,013
長期預け金	10,859	修繕積立金	79,495
収益事業会計元入金	20,000	次期繰越活動収支差額	152,998
積立預金	103,531	(うち当期活動収支差額)	84,278
その他の固定資産	635	純財産の部合計	1,181,095
資産合計	2,263,496	負債及び純財産の部合計	2,263,496

3. 資金収支計算書（2008年4月1日～2009年3月31日）

単位：千円（千円未満切捨て表示）

勘定科目		予算	決算		
経営活動による収支	収入	介護保険収入	1,264,458	1,266,160	
		利用料収入	167,651	173,044	
		療養費等収入	65,456	65,776	
		運営収入	126,251	135,608	
		私的契約利用収入	4,995	7,583	
		有料老人ホーム受託収入	115,726	89,986	
		経常経費補助金収入	63,511	67,267	
		寄付金収入	4,040	11,682	
		雑収入	14,722	19,319	
		就労支援事業収入	390	744	
		借入金利息補助金収入	1,084	1,111	
		受取利息配当金収入		210	
		経理区分間繰入金収入			
		経常収入計	1,828,288	1,838,496	
支出	支出	人件費支出	1,375,706	1,341,844	
		事務費支出	220,643	211,462	
		事業費支出	140,431	137,838	
		借入金利息支出	17,526	16,738	
		経理区分間繰入金支出			
経常支出計	1,754,308	1,707,884			
経常活動資金収支差額	73,979	130,611			
施設設備等による収支	収入	固定資産売却収入		15	
		元入金収入	20,000	20,000	
		施設整備等収入計	20,000	20,015	
		支出	支出	固定資産取得支出	55,925
元入金支出	20,000	20,000			
施設整備等支出計	75,925	63,965			
施設設備等収支差額	55,925	43,949			
財務活動による収支	収入	借入金元金償還補助金収入	3,250	3,250	
		その他の収入		2,132	
		財務収入計	3,250	5,382	
	支出	支出	借入金元金償還金支出	37,872	37,872
			投資有価証券取得支出		1
			積立預金積立支出	32,500	43,512
その他の支出		4,225			
流動資産評価減等による資金減少額等		73			
財務支出計	70,372	85,684			
財務活動資金収支差額	67,122	80,302			
予備費	18,000				
当期資金収支差額合計	67,068	6,359			
前期未払資金残高	151,649	151,649			
当期末未払資金残高	84,580	158,008			